

川越城築城五百五十年



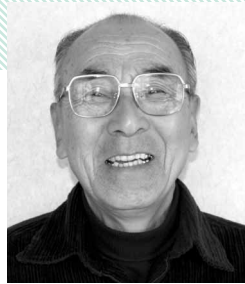
協会により「日本百名城」の一つとして選定されました。本丸御殿は、城主が政務や日常生活をする場として使われていました。国内で、当時の状態を今に伝えている本丸御殿は、川越城と高知城（高知市）の二か所だけです。現在の川越城本丸御殿には、玄関と大広間が当時のまま残っています。また、払い下げられていた建物を移築復元した家老詰所つめしょもあります。

市では五月に、川越城本丸御殿で「(仮称)日本百名城展」の開催を予定しています。そのほかにも、歴史的に貴重な川越城の価値を多くの皆さんに再認識していただくため、さまざまなイベントを実施していきます。詳しくは、広報川越で順次お知らせします。また、「歴史を今に伝えて」でも十二月までの毎回、川越城にまつわる話を紹介します。どうぞ、ご期待ください。

ことし、築城五百五十年を迎える川越城。長禄元年（一四五七）、上杉持朝の命により、その家臣であった太田道真・道灌父子によつて築城されました。現存する川越城本丸御殿（県指定文化財）は、嘉永元年（二八四八）、当時の川越城主であった松平齊典によつて建てられたものです。

昨年二月、川越城はその歴史的価値から、(財)日本城郭

友好都市から、こんにちは！



国内の姉妹・友好都市

中札内村グリーンツーリズム推進住民会議代表 / 茂古沼啓三さん

私たちは、中札内村の豊かな自然と農村の魅力を生かした体験・滞在型観光により、中札内村と都市部の交流をすすめている住民グループです。昨年秋には東京近郊の皆さんが体験型観光に訪れ、空気のおいしさや雄大な農村景観などを楽しんでいました。

平成16年から、「川越市少年の翼」で中札内村を訪れる川越の中学生が行う芋掘り体験などに協力して、川越との交流を深めています。これからもさまざまな形で、交流活動を進めていきたいと思っています。

*外国籍市民の皆さんを対象にした催しは12ページ・15ページ、相談は23ページをご覧ください。

国際交流課国際交流担当・TEL内線2141

どんぐり

編集後記

新しい年が始まり、早いもので1か月が過ぎようとしています。ことしは、個人的に区切りの年齢を迎えます。元日に新たな誓いを立て、仕事も私生活も昨年より充実した1年にしていきたいと思っています▶1月2日の午後、寺尾調節池の周辺を散歩していると、たこ揚げをしている子どもたちの姿を見かけました。また、7日の午前中には、渋井の新河岸川の土手の上で多くの人たちが、たこ揚げをしている様子を見かけました。ここ数年、自宅周辺でたこ揚げをしている子どもたちを見かけなくなり、お正月らしさが薄れてしまったのかと思いました。しかし、これらの様子を見て、ほっとした気持ちになりました。たこ揚げに限らず、お正月の伝統的な遊びを無くしてはいけないと感じた、年の始まりでした。